

神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和8年度 第1回みどり支援学校運営協議会		
開催日時	令和8年5月27日(水)15:00~17:00		
開催場所	みどり支援学校 会議室		
出席者	神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会委員10名(本校校長を含む 1名欠席) 神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会事務局教職員 11名		
次回開催予定日	令和8年10月28日(水)		
問い合わせ先	みどり支援学校 副校長 石丸 葉子 電話 045-471-7941 Fax 番号 045-474-4707		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
審議(会議)経過	<p>審議(会議)事項</p> <p>1 学校長挨拶 ・今年度よりみどり支援学校に着任しました。本日はご多忙の中ご出席くださり誠にありがとうございます。今年度何名かの委員が新しく加わりました。この春、本校は78名の新入生を迎え、全児童生徒数266名となりました。年々過大規模化が進んでいますが、より良い教育環境づくりを目指していきたくと考えています。本校は自立と社会参加に向け自分らしく輝く子供の育成をめざしています。先日、今年度初めて教員になった職員に大切にしてほしいことの4つを話しました。1つ目は子どもの強みを生かし、できることを増やす。丁寧に強みを見つけ、少し難しいことでもチャレンジできる力を育てる、生きる力につなげる。2つ目は楽しく、達成感を味わえる授業づくり。楽しい！やりたい！できた！と子どもが感じられる授業づくりをしてほしいことということです。教員のやりがいにもなります。3つ目はできないことの要因を見つけだし、支援方法を探して目標達成を目指すこと。4つ目はまわりの人たちを大切にすることを育てることです。また、学校運営においては働き方改革を進めております。教員がやりがいを持ち、子どもたちの成長を実感し、保護者と喜びを分かち合い、自らも人間的に成長できる学校であってほしいと考えております。 ・本日の協議会では学校の教育目標や今年度の取り組みを説明いたします。みなさまからの貴重なご意見を今後の学校運営に生かしていきたいと考えております。忌憚のないご意見をぜひよろしくお願いいたします。</p> <p>2 委員委嘱・委任及び会長・副会長選出 ・各委員、事務局自己紹介 ・会長、副会長を選出し、承認された。</p> <p>3 みどり支援学校 学校運営協議会について ・コミュニティ・スクールの手引きを基に学校運営協議会の3つの機能(3つ目は職員の任用に関して校長が教育委員会に意見を述べる)、4つの協議会が生み出すもの、3つの部会について確認した。</p> <p>4 学校教育計画(令和6年度~令和9年度)について ・学校教育計画、グランドデザインについて説明。 ●教育委員会から学校に示されたミッションについては4年に1回毎に示されるということだが、大きく変わることはあるのか？ ・大きくは変わらないが、キーワードが変わる。今回は個別最適な学びと協働的な学びが変わっている。 ○保護者へのグランドデザインの周知はどのようにしているか？ホームページ掲載ではなく別の方法できちんと周知することが大切。この場で話されたことをぜひ保護者間で共有して行ってほしい。</p> <p>5 令和8年度の目標設定や方策について(学校評価部会も併せて行う) (1)教育課程・学習指導 ・小学部から高等部までの各教科のねらいや指導内容を共有し、系統的で一貫性のある教科指導の実践につなげるための検証を進める。小学部において年間指導計画を活用し、指導のねらいを明確にした授業を行う。具体的な手立てとして、担任が各教科の年間計画を作成し</p>		

審議(会議)経過

たのち実践の振り返りを行い、今後の計画の見直しをする。教科会においては各学部の指導内容を共有した。今年度は教科の分野の散布図を作成し、次年度の年間指導計画の作成に生かす。②教育課程編成表の指導の形態と各学部の年間指導計画の整合性を検証する。

【意見交換・質疑応答】

●年間指導計画が実際にどのようなものか知りたい。

・例えば体育だと1学期は球技、2学期は体操・・・となる。年間指導計画は単元名のみを記載していた。新書式は単元名に加えて授業の内容が具体的に書かれているもの、どの学年の段階も書いている。新しい年間指導計画をもとに該当の学年でどの学年段階のものを扱っているかを小1から高3まで一枚の表に入力した散布図を作成する。右肩上がりで一貫性が保たれているかを検証する。中間評価、年間評価のときには具体的なものを示したい。

●先生方にとって、新しい書式が効率的になるのかが大切だと思う。また、同じ学年、同じクラスでも子どもによって内容が異なるものが特別支援学校の教育だと思うので、全体で一貫する指導が個別にとって良いのか、先生方がどう考えていらっしゃるか？

・年間指導計画は内容が具体的に書かれており、教員の異動があっても混乱がなく効率的。個別について、国語数学であると散布図は作れない。集団授業において散布図を作成する。

(2) 児童・生徒指導・支援

・育てたい力の中から①昨年度支援連携グループで作成した「育てたい力」の中から「伝える力」に焦点を当て、また自立活動の視点から取り組む。小中高においては自立活動と伝える力について考えていく。分教室は伝える力についてアセスメントを行う。一人一台端末について今年度新しく設置された分掌チームの情報教育が中心となって進める。②3年計画で授業づくり研究をすすめており、今年度は2年目となる。1年目は授業リフレクションを行った。今年度は授業づくりの段階から全教員で協働的に進める。

【意見交換・質疑応答】

●一人一台端末の導入によってどのような変化がもたらせるか？強みを引き出す、個性を生かすという面において、無理やり行われるものではないという確認で良いか？

・高等部はクロームブックを使用している。例えば不登校の生徒について、活用していきたいと考えている。授業では調べ学習、調べたことを表にまとめる、国語数学の個別学習でのアプリ活用といった実践をしている。教員各自の取り組みのため、教員間で共有して活用をめざしたい。

・全体として使いたがる生徒が多い。個別性にも対応できる。教員のスキルが異なるので、今年度実践として進めていきたい。

・ICT 機器活用の一例として、高等部の現場実習後のお礼状作成がある。従来は手書きをしていたが、PC で言葉を調べる、自分の言葉で表現できるようになった。誰もができるようになった。他の教科でも同様のことができている。

●授業改善の評価はどのように行うか？

・知的障害の特別支援学校のこういった場面が個別最適な学び、協働的な学びとなるのか探っている段階である。授業づくりの話し合いを多く設定する中で、意見を交わし合い、共有する過程で子どもたちの学びを評価したい。

○具体的なイメージを示すと先生方もそれに向かって授業改善に取り組めるのではないか。1年間で目指すイメージを具体化できると良い。

(3) 進路指導・支援

・キャリア教育の視点による育てたい力を全校に周知する。①-1 昨年度各学年で考えた内容をもとに令和7年度版として学校全体のものをまとめた。教員が日々の指導、授業を行う中で意識して取り組めるよう、今年度周知をしていきたい。①-2 昨年度は各学年異なっていた校内実習評価表を学部で統一した。6月に校内実習が始まる。実際に使用してみようだったかアンケートを取るなどして活用に焦点をあてて取り組んでいく。②キャリア教育の実践について教職員のニーズを把握し、研修会の内容を検討して計画していく。

【意見交換・質疑応答】

●昨年度のものは活用できているのか？切れ目ない支援部会では保護者とも共有できると良いと話していた。

・今のままの書式では保護者に提示は難しいが、昨年度2月の進路面談では評価表をもとに良かったところをきちんと保護者にお伝えした。書式があることによって、クラス担任として統一してお伝えができた。

○小中高の一貫教育の中で社会に出るときに一番大切なのが進路支援。高等部統一の評価表ができたのは素晴らしいこと。評価基準ができたところで、評価する視点が次に大切になる。評価する視点をそろえる研修が必要となるのではないか。そういった取り組みもしてほしい。

○高等部に入学したときに卒業後の進路について強く意識した。この3年間の中で一人一人の生徒がどれだけ伸び代を増やしていけるのか。2年の2月ではなく、もっと早いタイミングから知りたい。去年B型の事業所の見学に行ったときに社会の状況がすごく変わっていると感じた。1~2年で上場企業に移っていくと聞いた。みどり支援では生活介護、B型、移行どれにしますか？と希望を聞かれる。親もそれぞれで子どもたちがサポートを受けながら一人暮

らしゃグループホームでの生活を希望する人もいる。もっと親と話してほしいと思う。  
○その方それぞれのライフデザインがある。支援学校を通過点と考えたときに、その方がどのような人生を歩んでいくか、そのための基礎を作ると先生方は捉えている。卒業後どこに行くかだけでなく、その先も見据えて一緒に話せると良いのでは。相談支援、選択支援も入っている中でビジョンを一緒に話せると良い。  
○まだ小2だと働くところまでは考えてはいない。昨年度進路に関する講習会もあったがまだ早いかと思い、参加しなかった。いつから考えたらよいか？生まれたときは生きるか死ぬかという状況だった。正直なところ今は生きることを一生懸命やりたい。  
○できるだけ早い機会に色々な世の中の動きを知っていただく。進路先について、法律について状況が変わっていている。教員にも知っていただきたい。  
○今を大事に、という視点と、この先のことを考える、どちらの視点も大切。評価表は始まったところなので今後保護者と共有していける方向性で進めると良い。

#### (4) 地域等との協働

・みどり支援学校のHPに支援に係る情報があることを広く周知する。双方向での学校間交流の検討を深めながら地域における活動の発信と活動を継続する。①—1センター的機能の一環として本校の教材を昨年度よりHPに掲載している。掲載する教材の充実と、情報発信について取り組んでいく。地域での会議や巡回相談、研修会等の活用を考えている。①—2公開講座を計画する。②—1学校間交流は双方向となるよう活動内容等について相手校とのやりとりをして計画していく。昨年度は東本郷小学校、城郷中学校と行った。児童生徒同士の交流に加えて作品交流も行った。本校の教員と交流校の教員がお互いの考えを出し合い、少しずつステップアップしていきたい。これまでの反省を踏まえ、昨年度のうちに管理職同士の確認を行い、今年度は新年度早々に打ち合わせができています。交流の進め方について校内の流れも整理していく。分教室は体育祭、文化祭、合同避難訓練を継続していきたい。②—2東本郷地域にある郵便局、地域ケアプラザでの作品展示を行っていく。高等部作業班が展示のための搬入作業を行わせていただく。公園清掃、ごみ拾い等地域での作業が生徒たちの大切な学びとなる。

#### 【意見交換・質疑応答】

○高校にとって、分教室との交流を深めていくことはお互いに非常に良い学びと捉えている。  
○HPに教材が掲載されていることが地域の小中学校へのヒントとなっていくと良い。  
○交流の中で一緒に何かを作る、育てるといった共同作業ができると良いのでは。機会を探っていただきたい。  
○センター的機能という言葉が大事だと思う。地域の小学校、中学校に個別支援学級がととも増えていると聞く。小中の先生の中には特別支援の知識がない中で対応に追われている。多くの先生が求めている。どんどん情報発信、交流をしてほしい。HPに教材が載っているということ以外にも研修会やワークショップなどできると良いのでは。

#### (5) 学校管理 学校運営

・①は地域、保護者も含めた防災対策の課題点を見直し、業務内容・マニュアルを検討する。休日夜間の緊急参集について教職員の事前の役割分担を明確にするため研修会を実施する。避難時の避難困難な児童生徒について課題の把握や体制づくりの検討・検証を行う。地域、保護者を含めたみどり防災デーを計画、実施する。シェイクアウト訓練について更なる改善を洗い出して訓練の効果を高めていく。②は改訂したマニュアルやシステムの運用・学校経営の体制について課題を検証し改善につなげる。給食はアレルギー、配慮食について、会計は私費の調整スケジュールの見直し今年度の状況を検証して次年度に向けた体制を見直す。③はTeamsと統合型校務支援システムを活用し、情報の整理や公務の効率化、スムーズな移行を図る。統合型校務支援システムは配付物のペーパーレス化、出欠確認等について運用する中で課題も見つかっている。課題を解決しながら業務の効率化に取り組んでいく。

#### 【意見交換・質疑応答】

●(5)の視点は一番効率化できる部分かと思う。この部分の縮小を期待している。AIの活用は神奈川県としてどのような状況か？個人情報に配慮しながら活用が進むと圧倒的に業務が削減できる。  
・AIの力を活用しながら効率化を進めていく状況にある。  
○東本郷の連合自治会の第5期福祉保健計画で「防災防犯に強い東本郷」というテーマとなっている。協働していきたい。

→今年度の教育計画について承認をいただいた。

#### 6 校長挨拶

・評価目標について承認いただきありがとうございます。全職員一丸となって取り組んでいきます。中間評価でご報告をいたします。

	<p>7 会長挨拶 ・非常に活発な意見を多数いただき感謝します。</p> <p>8 各部会</p>
<p>会 議 資 料</p>	<p>① 神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則</p> <p>② 神奈川県立学校に設置する学校運営協議会の運営等に関する要綱</p> <p>③ 令和8年度神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会運営要項</p> <p>④ 学校教育計画(令和6年度～令和9年度)</p> <p>⑤ 神奈川県立みどり支援学校ランドデザイン、学校経営方針</p> <p>⑥ みどり支援学校4年間の目標達成のためのロードマップ</p> <p>⑦ 令和8年度みどり支援学校 学校評価目標設定</p> <p>⑧ 学校目標達成に向けたマトリクス</p> <p>⑨ 令和8年度みどり支援学校 学校評価目標設定(各グループ・学部)</p> <p>⑩ 令和8年度学校運営の重点課題【特別支援学校版】</p> <p>⑪ コミュニティー・スクールの手引き(一部抜粋)</p> <p>⑫ 神奈川県立学校のコミュニティー・スクール(リーフレット)</p> <p>⑬ パワーポイント資料</p>